

事前評価個表

整理番号	22
------	----

地域（地区）名	しらかわ きくちがわ 白川・菊池川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	熊本市ほか 18 市町村
事業実施期間	R7 年度～R11 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、林業事業者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、熊本県の北部から北東部に位置する。</p> <p>本地区の総面積 266 千 ha のうち森林面積は 125 千 ha（森林率 47%）で、このうち民有林の面積は 115 千 ha（森林全体の 92%）となっており、スギ、ヒノキを主体とする人工林が 68 千 ha（人工林の約 59%）となっている。</p> <p>また、人工林の年齢構成は、7 年齢以上の森林が 91% を占めており、本格的な利用期を迎えている一方で、適切な保育・間伐を必要とする 3～12 年齢の森林は 59% を占めており、伐採適期を迎える高齢級の人工林の主伐後の確実な再生林のほか、適切な保育の実施が求められている。</p> <p>このため、本地区では、森林資源の循環利用に向けた森林整備を行い、水源涵養機能や土壌保全機能等の公益的機能の発揮とともに効率的な木材の有効利用を推進する必要がある。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、森林施業の集約化による効率化を図りつつ、間伐や再生林等の森林整備及びこれらを効率的に推進するために必要な森林作業道等の路網整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：8,929ha</p> <p>人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐、附帯施設等整備、森林作業道等</p> <p>総事業費：8,537,799 千円（税抜き 7,761,635 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 5.30$</p> <p>（総便益（B）=69,690,341 千円、総費用（C）=13,155,296 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：主伐後の再生林や間伐等の森林整備が必要な人工林が多くを占める地区であり、森林の多面的機能の維持増進を図るため、適正な森林整備の実施が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、森林施業の集約化や路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備によって、森林の有する水源涵養機能や土壌保全機能などの公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名： 熊本県

地域(地区)名： 白川・菊池川

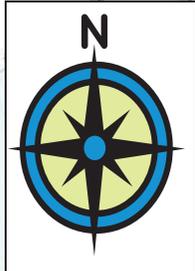
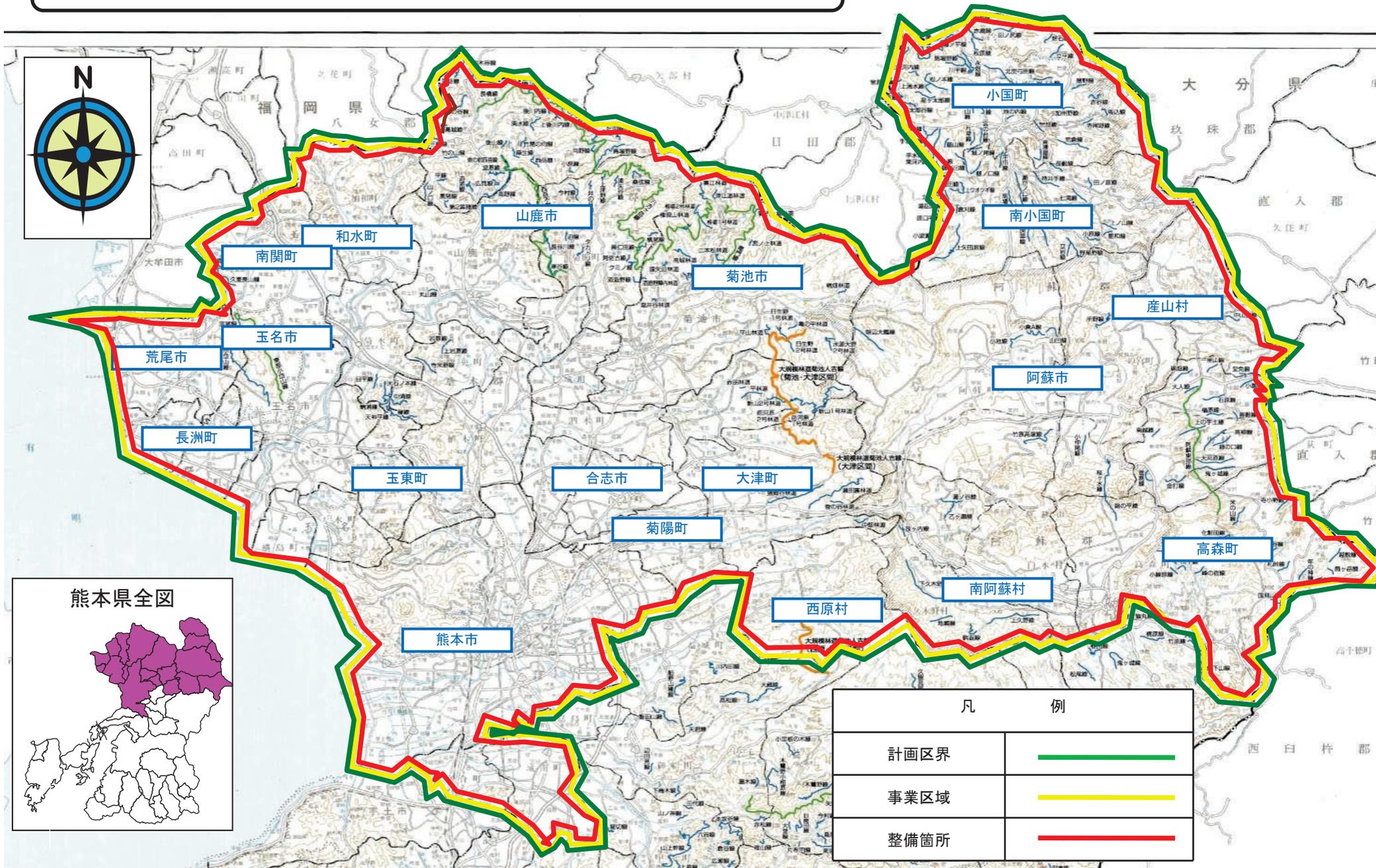
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	32,526,788	
	流域貯水便益	5,398,193	
	水質浄化便益	19,952,290	
環境保全便益	炭素固定便益	4,383,180	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	7,429,890	
総 便 益 (B)		69,690,341	
総 費 用 (C)		13,155,296	
費用便益比	$B \div C =$	$\frac{69,690,341}{13,155,296} = 5.30$	

参考

費用便益比 ($i=0.02$)	$B \div C =$	$\frac{119,402,923}{15,877,844} = 7.52$	
費用便益比 ($i=0.01$)	$B \div C =$	$\frac{164,150,474}{17,708,509} = 9.27$	

森林環境保全整備事業 白川・菊池川地域(熊本県)



凡 例	
計画区界	— (Green line)
事業区域	— (Yellow line)
整備箇所	— (Red line)